お客さま用

4007336(00/05)

品　番 GD-B181A2S / GD-B181A2P

自動給水 ［バキュームブレーカ方式］ ディスポーザ 取扱説明書

保証書付（裏表紙）

お願い

このたびはディスポーザをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を必ずよく読み、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管しておいてください。
- 保証書に記載してある、販売店・保証内容などをよく確認し、ご使用開始日を記入していただき、大切に保管しておいてください。

ディスポーザ単独での使用はできません。当社指定の処理槽が必要となります。

MAX® マックス株式会社

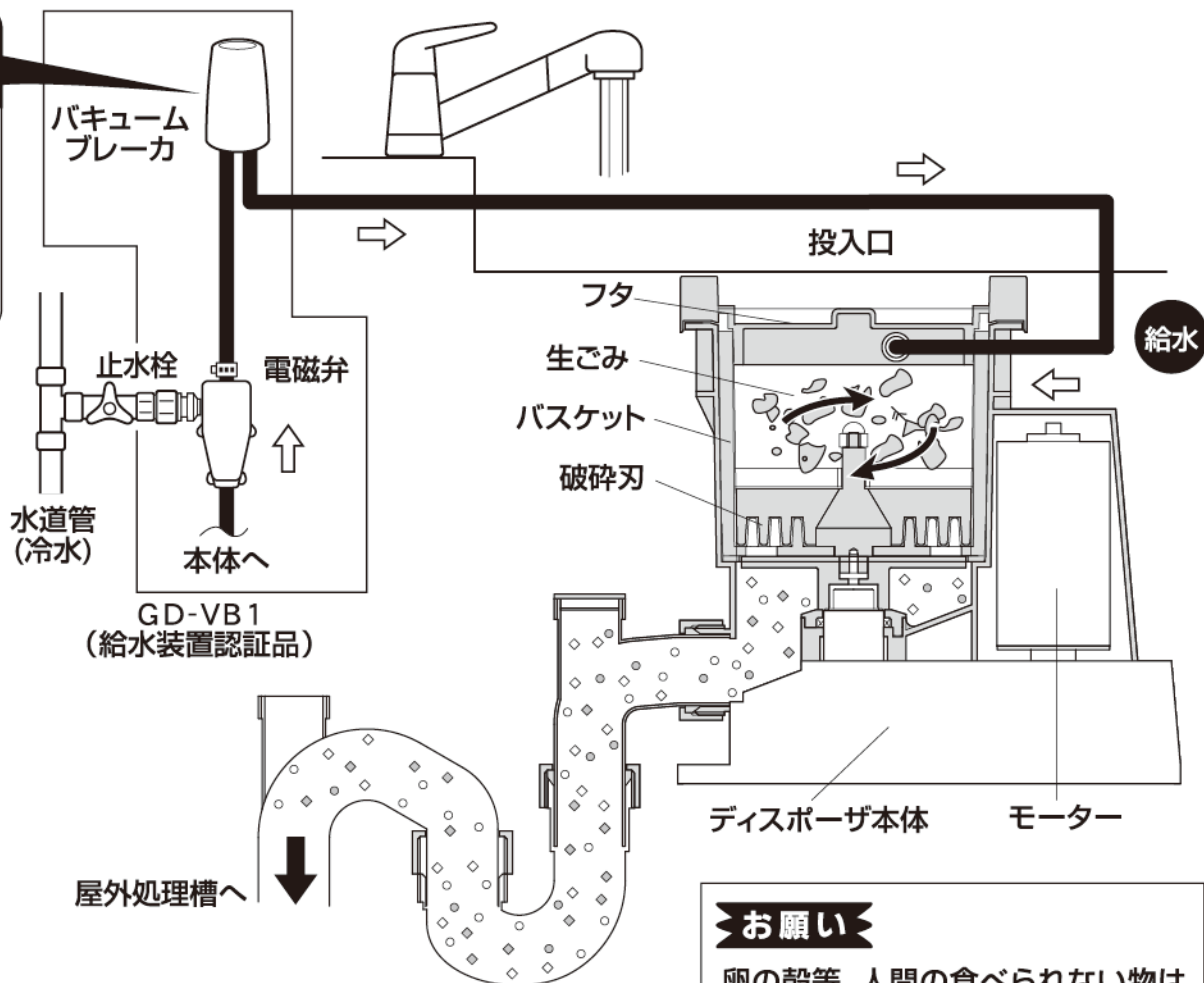
ディスポーザとは？

破砕の仕組み

ディスポーザとは、生ごみを破砕し、水とともに洗い流す装置です。
ディスポーザ内に投入した生ごみは、破砕刃で細かく破砕され、
水道水により処理槽へ流されます。

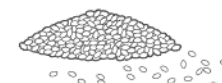
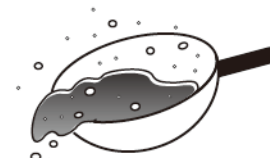
バキュームブレーカとは？

バキュームブレーカとは、飲料水の汚染防止のための装置です。この装置は、機能を保つためシンクの溢れ縁（ワークトップ）より上方に設置しなければいけません。

バキュームブレーカ
止水栓
電磁弁
水道管（冷水）
本体へ
GD-VB1
（給水装置認証品）
投入口
給水
フタ
生ごみ
バスケット
破砕刃
ディスポーザ本体
モーター
屋外処理槽へ

お願い

卵の殻等、人間の食べられない物は入れないようにしましょう。

処理できないもの

次のようなものは、投入口に **絶対に入れないでください。** 故障や排水管詰まりの原因になります。また、処理槽で正常な処理ができなくなります。

もくじ

はじめに

ディスポーザとは？ …… 1
安全上のご注意 …… 3
お願い …… 5
各部の名称 …… 6
ブザーの種類 …… 6

ご使用方法

使いかた …… 7
上手な使いかた …… 9
お手入れのしかた …… 9
漏電しゃ断器の点検 …… 10

こんなときは

故障かな？と思ったときには …… 11
保証とアフターサービス …… 13
故障時の連絡先 …… 13
仕　様 …… 14
保証書 …… 15

安全上のご注意

●安全にご使用いただくために必ずお守りください

○ご使用前に、この事項を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
○この項に示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
○ここでの『人』とは、使用者のみでなく、ご家族、来客者も含みます。

▼ 表示区分の意味は次のとおりになっています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

▼ 図記号の意味は次のとおりになっています。

 「必ず行うこと」
 「水ぬれ禁止」
 「 禁 止 」
 「ぬれ手禁止」
 「分解禁止」
 「注意喚起」
 「接触禁止」
 「アース線接続」

⚠警告

分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理は行わないでください。

火災・感電・けがの原因になります。

修理は、**マックスお客様ご相談ダイヤル**
0120-228-457までご連絡ください。

ぬれた手で電源スイッチを操作しないでください。

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

悪い例

本体や制御ボックスをぬらさないでください。

水ぬれ禁止

漏電や感電の原因になります。

悪い例

電源コードや漏電しゃ断器付きプラグを傷つける、改造する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、熱器具に近づける、重い物を載せる、束ねる、はさみ込む等、破損するようなことはしないでください。

禁 止

・傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。
・コードやプラグの修理は、工事店に御相談ください。

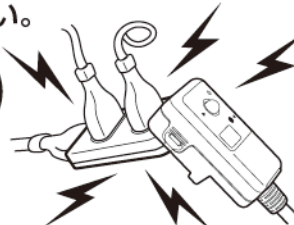
禁 止

交流100V以外での使用はしないでください。

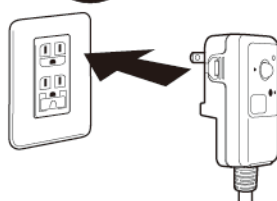
指定電圧	AC100V

火災や感電の原因になります。

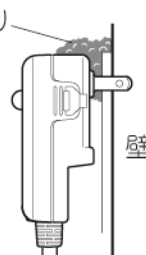
コンセントや配線器具の定格を越える使い方はしないでください。

禁 止

悪い例

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

漏電しゃ断器付プラグは根元まで確実に差し込んでください。

・差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
・傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

漏電しゃ断器付プラグのほこりなどは、定期的に清掃してください。

・プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
・漏電しゃ断器付きプラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

⚠警告

ぬれた手で漏電しゃ断器付プラグの抜き差しや漏電しゃ断器の操作・点検をしないでください。

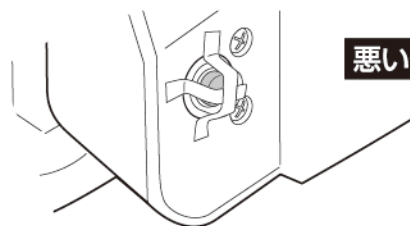
ぬれ手禁止

悪い例

感電の原因になります。

過負荷保護装置（赤ボタン）をテープなどで固定しないでください。

禁　止

モーターに異常負荷がかかり、火災の原因になります。

アース線の接続を絶対に取り外さないでください。

壁面側

アース線接続

本体底面側

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アース線の取り付けは、法律で義務付けられています。

異臭・異音の際はただちに使用を中止し、スイッチをOFFにしてください。

異常なまま使用を続けると火災や感電の原因になります。電源コードをコンセントから抜き、**マックスお客様ご相談ダイヤル ☎0120-228-457** までご連絡ください。

⚠注意

本製品は、生ごみ処理システム専用に開発されたディスポーザ専用の給水装置です。飲用に適した装置ではありませんので、改造などをして飲用に用いないようご注意ください。

禁　止

水もれ等の原因となります。改造などにより給水量が低下すると、配管の詰りの原因になることがあります。

・シンクに連続して熱湯を流さないでください。
・シンクに高温の油を絶対に流さないでください。

禁　止

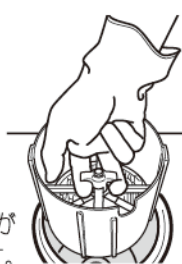
排水管・バスケット・本体の変形や劣化が発生し、水漏れの原因になることがあります。

異物を取り除く時・バスケットを取り外す時・清掃する時は、電源スイッチを必ず「OFF」にし、運転が止まっている事を確認してください。

異物を取り除いた後は、電源スイッチを「ON」にしてください。

バスケットを取り外し、破砕刃を清掃する際、手を挟まないように注意してください。

注意喚起

破砕部内の破砕刃などで、手にけがをする原因になることがあります。
厚手の手袋などを着用して行なってください。

本体に触れる場合は高温になっている場合がありますのでご注意ください。

やけどの原因になることがあります。

注意喚起

バキュームブレーカに無理な力を加えないで下さい。バキュームブレーカカバーをはずさないで下さい。

禁　止

水もれ等の原因となります。

異物を取り除く時と、バスケットを取り外す時以外は、投入口に手を入れないでください。(特にお子様には注意してください)

禁　止

破砕部内の破砕刃などで、手にけがをする原因になることがあります。

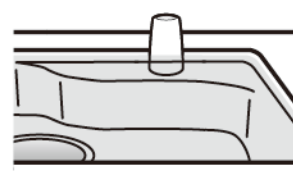
バスケットを落とさないよう注意してください。

禁　止

床がキズついたり、ケガの恐れがあります。

バキュームブレーカを長時間浸水させないでください。

禁　止

水もれ等の原因となります。

お願い

●正しくお使いいただくためのお願い

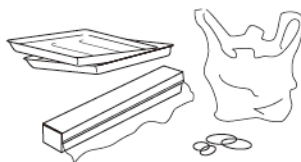
●アース線と漏電しゃ断器付プラグが確実に接続されていることを確認してください。

●投入口に次のものは絶対に入れないでください。故障や排水管詰まりの原因になります。

金属・プラスチック・
陶器類・ガラス

輪ゴム・ラップ・ビニール・
ゴム類・プラスチックトレイ

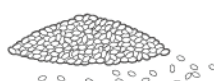
紙・木類

卵の殻

たばこの吸い殻・灰など

生のお米

サラダ油・天ぷら油・
凝固した油・
廃油など

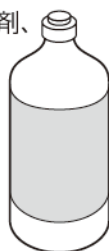
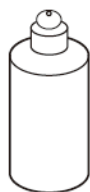
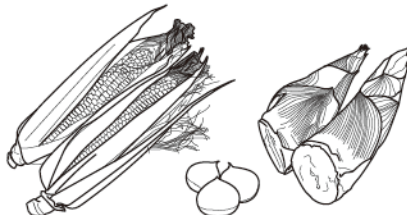
食器や鍋などに付着している
油程度は問題ありません。

大きな骨（豚骨、牛骨）・
貝殻・カニなどの殻

薬品類（殺虫剤・
除草剤など）

高温に熱した油

※人が食べられないものは投入口に入れないようにしましょう！

●投入口に以下のようなものを入れないでください。処理槽での正常な処理が出来なくなります。

配管洗浄剤、
漂白剤

台所用洗剤

●大量のとうもろこし、タケノコ、クリなどの**皮**等、**強い繊維質のもの**を、入れないでください。

故障や排水管詰まりの原因になります。

●一度に2杯以上の**炊いたお米**は入れないでください。

排水管詰まりの原因になります。

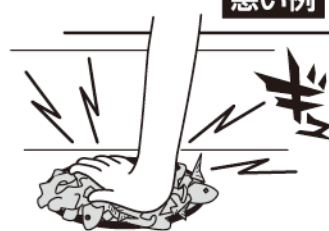
●止水栓は、あらかじめ設定された吐水流量を確保できるように調整されています。
止水栓の設定をむやみに変更すると、給水量が低下し、配管の詰りの原因になることがあります。

●フタ（フタスイッチ）を落とさないでください。

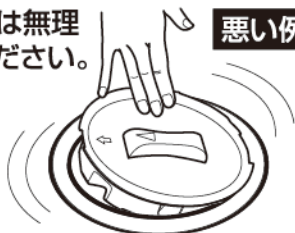
フタ（フタスイッチ）が破損し、故障の原因になることがあります。

●生ごみは無理に押し込まないでください。

悪い例

生ごみが破砕できなくなります。また、モーターに負荷がかかりすぎ、故障の原因になることがあります。

●フタが閉まらないときは無理やり押し込まないでください。

悪い例

バスケットがきちんと装着されているか確認してください。

●停電時や異常時(フタをはずしても警告ブザーが鳴り続けている時)は使用しないでください。

●長期間使用しないときは電源を切ってください。

OFF

●一般家庭以外の用途ではご使用しないでください。

各部の名称

破砕部内

バスケット装着レバー

破砕刃

固定刃

ワークトップ

バキュームブレーカ

給水

電磁弁

バキューム
ブレーカ

フタ（フタスイッチ）

投入口

バスケット

本体

制御
ボックス

漏電
しゃ断器付
プラグ

本体給水装置

給 水

アース線

電磁弁

止水栓

電磁弁

水道管
（冷水）

※シンク壁面
に設置され
ています

排出管

排水トラップ

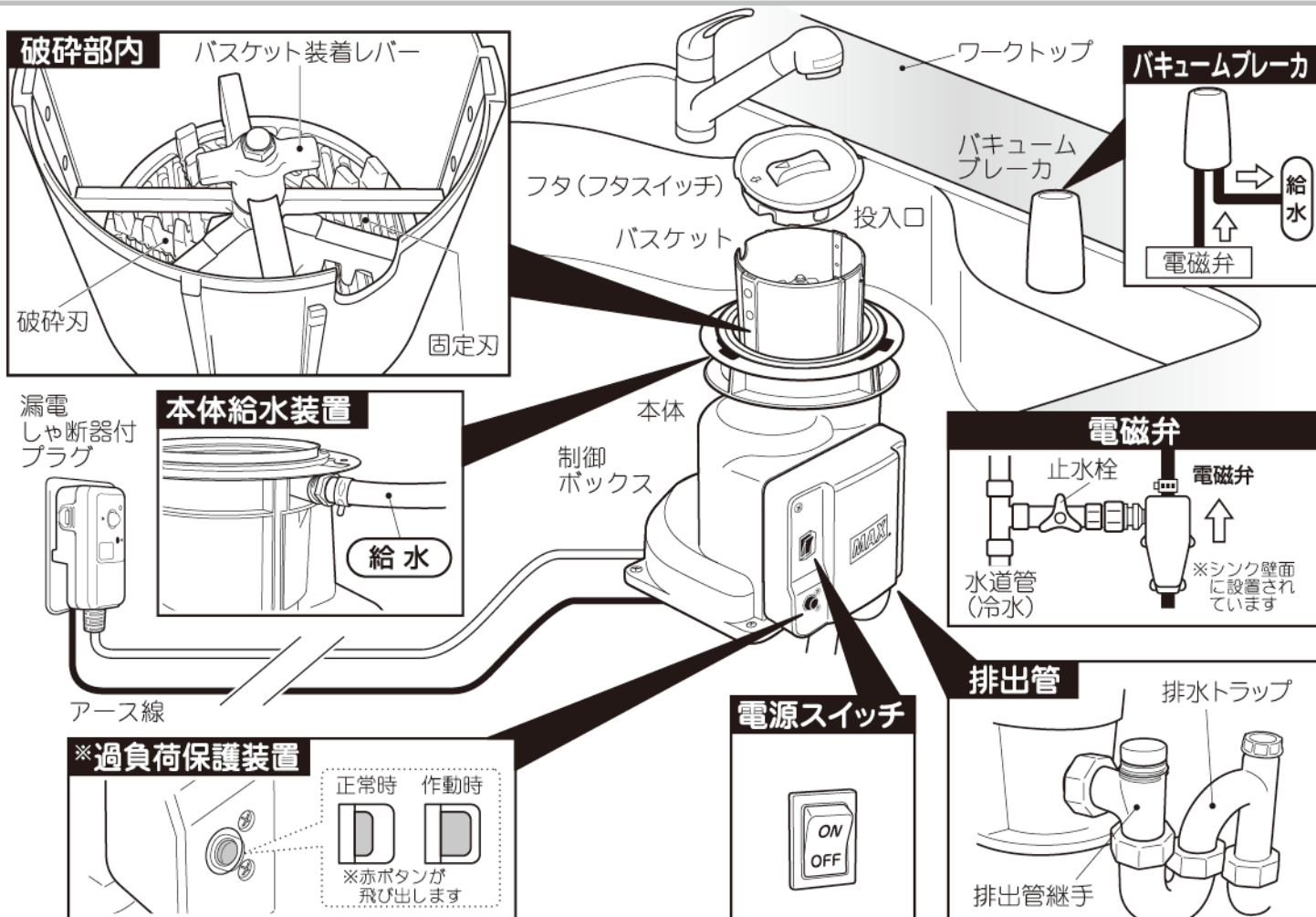
排出管継手

電源スイッチ

ON
OFF

※過負荷保護装置

正常時　作動時

※赤ボタンが
飛び出します

警告

※過負荷保護装置（赤ボタン）を、テープなどで固定しないでください。

モーターに異常負荷がかかり、火災の原因になります。

注意

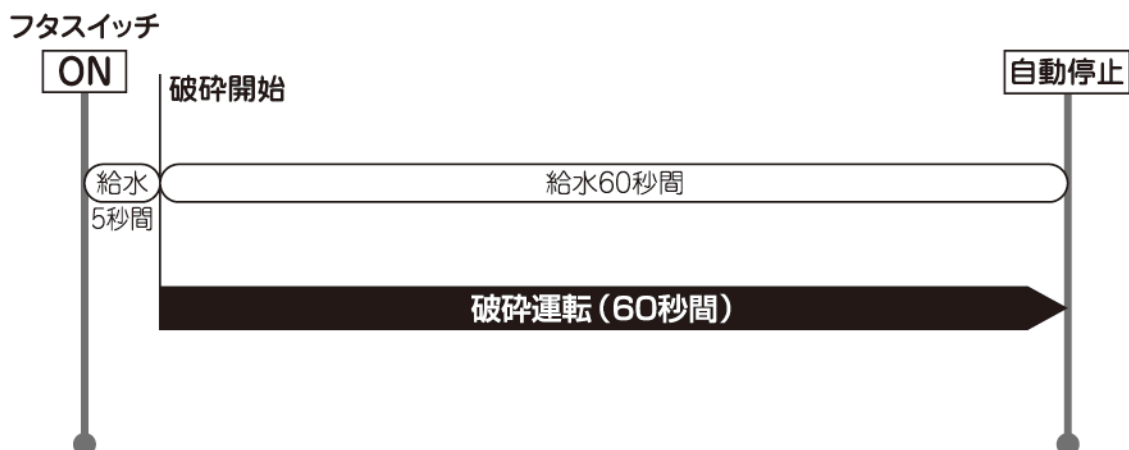
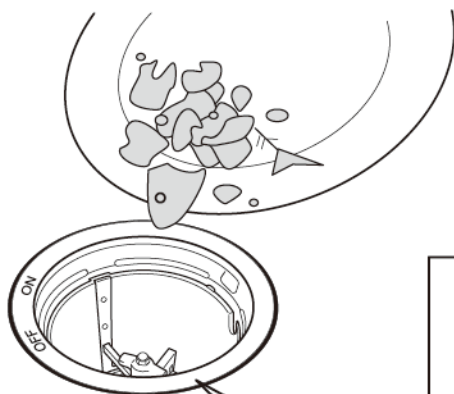
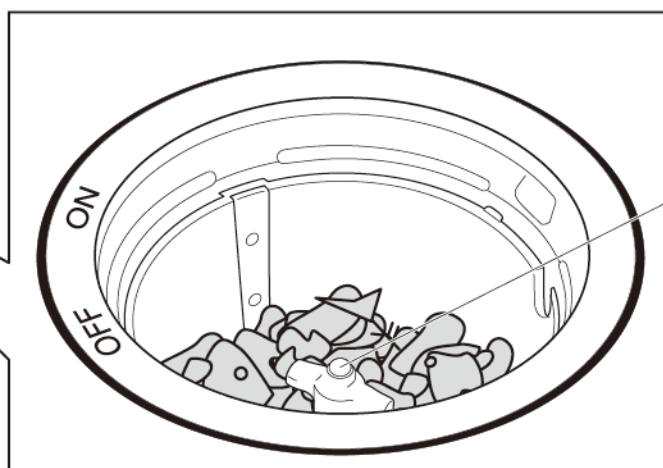
スライド式キッチンの場合、収納物が本体に当たらないようにしてください。

収納物破損の原因になることがあります。

ブザーの種類

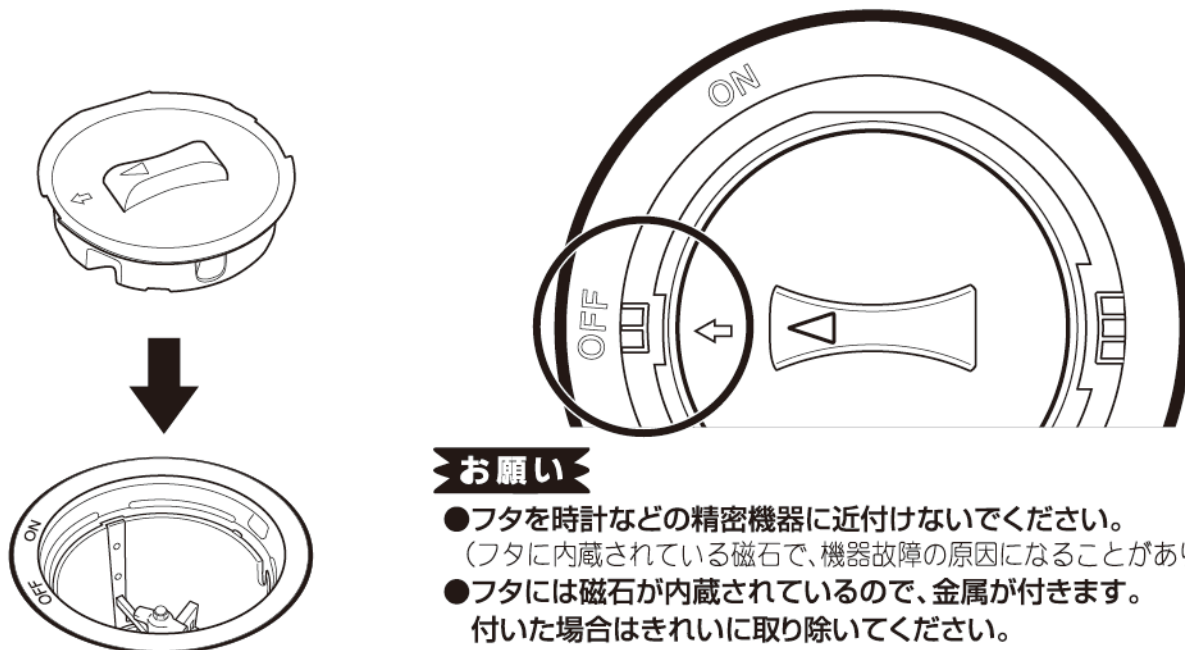
	どんな時に鳴る?	ブザー音	対応方法
おしらせ音	電源投入時	『ピ』	
	フタスイッチをONにした時	『ピ』	
	35秒間経過した時	『ピピ』	
	1分間経過した時	『ピ』	
警告音	破砕中にフタスイッチをOFFにした時	『ピピピピピピ』	破砕処理を1分間必ず継続してください。
	※過負荷運転（正逆運転）が規定回数以上になった時	『ピピピ　ピピピ…』	フタを外せばブザー音は止まります。スプーンなどが入っていた場合、取り除き、再度フタをして破砕を続けてください。
	更に※過負荷運転が続き冷却が必要な時	『ピーピーピーピー』	冷却が必要です。機械は動きません。5分間待機状態になります。5分経過後ブザーが鳴ります。その後、通常動作ができます。5分間待機中にフタを外し再度フタを投入した時、『ピー』とブザーが鳴ります。5分間冷却させてください。
	本体に何か問題があった時	『ピピピピピピ…』	フタを外してもブザー音は消えません。使用を中止し、電源スイッチを「OFF」にして、電源コードを抜いてください。**マックスお客様ご相談ダイヤル** 0120-228-457へご連絡ください。

※**過負荷運転**とは、かたいものや、多量に生ごみを投入したときに、正逆運転を繰り返す動作です。

使いかた

1 生ゴミを投入口から入れる

●一回の投入量の目安はバスケット装着レバーがかくれる程度の量です。
破砕しにくいものは、1回の投入量を少なめにしてください。

お願い

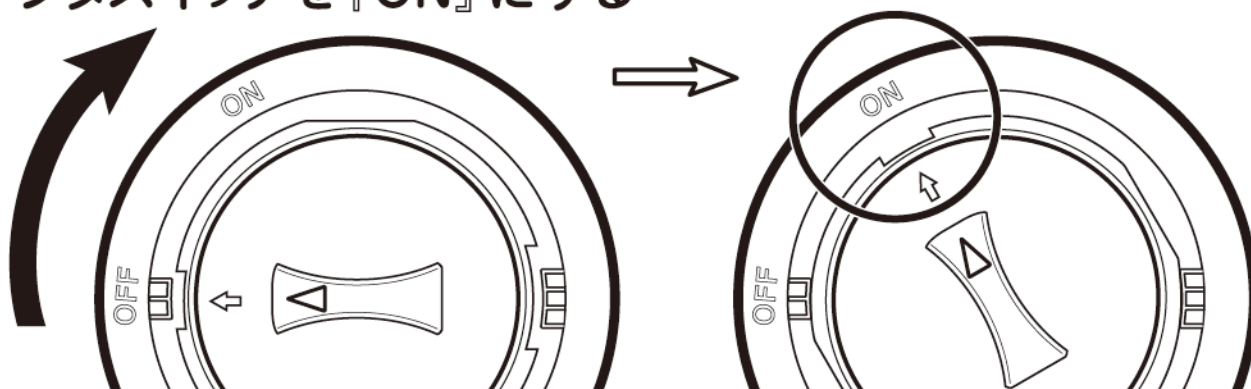
●金属・プラスチック・陶器類や貝殻・カニなどの殻等、処理できないもの（5ページ参照）は投入しないでください。
●生ごみは無理に押し込まないでください。
●大量のとうもろこし、タケノコ、クリなどの皮等、強い繊維質のものを、入れないでください。
●サラダ油・てんぷら油・凝固剤などで固めた油・台所用洗剤は、投入しないでください。
●生ごみがバスケット装着レバーにまたがらないように投入してください。

2 方向を確認して投入口にフタをする

●フタの方向（△印を投入口の『OFF』に合わせます）を確認して、取り付けてください。

お願い

●**フタを時計などの精密機器に近付けないでください。**
（フタに内蔵されている磁石で、機器故障の原因になることがあります。）

●**フタには磁石が内蔵されているので、金属が付きます。**
付いた場合はきれいに取り除いてください。
（金属類が付いていると、フタが確実にできない場合があります。）

3 フタスイッチを『ON』にする

❶ フタスイッチを『**ON**』にするとブザーが『**ピ**』と**1回**鳴り、給水が開始されます。
❷ **5秒後**に破砕が開始されます。**5秒間**ごとに反転動作を繰り返します。
❸ **35秒間**経過すると、ブザーが『**ピピ**』と**2回**鳴ります。
❹ **60秒間**経過すると、ブザーが『**ピ**』と**1回**鳴り自動停止します。
※ 運転開始から5秒間ほぐし運転をします。

お願い

●**運転は自動停止するまで必ず継続して行ってください。**
●**運転を繰り返すときは、フタをはずして、再度『ON』にしてください。**
●**運転中に、異常音がしたり、異常な振動がある場合は、すぐに運転を止めて破砕部内を確認してください。**
（誤ってスプーンなどの金属類が入っている場合、故障や配管の詰まりの原因になります。）

メモ

●**過負荷運転を繰り返す（正逆運転）と、ブザーが『ピピピ　ピピピ・・・』と継続して鳴り、自動停止し、破砕が中断したことをお知らせします。（故障ではありません）6ページ参照。**
●**フタスイッチを『OFF』『ON』にする場合、2秒以内に操作してください。（フタセンサーがエラーになります）**

上手な使いかた

- **大きなものや、かたいものは、細かくしてから投入すると破砕しやすくなります。**
  （スイカ·グレープフルーツの皮、とうもろこし·キャベツなどの芯、生の大根·カボチャなど）
- **同種類の生ゴミのみでなく、いろいろな種類の生ゴミを混ぜて投入すると破砕しやすくなります。**

運転回数の目安（バスケットいっぱいに入れたときの目安です）

生ごみの種類	運転回数（時間の目安）
★やわらかいもの ごはん·くだもの·野菜など （スイカの皮·メロンの皮などの厚いものは2〜3cm程度に刻んで投入してください。）	1回 （1分）
★かたいもの 鳥ガラ·魚の骨·野菜の種など （かたいものは、他の生ごみと混ぜると処理しやすくなります）	
★ねばりつくもの・浮きやすいもの うどん·餅など、ジューサー·コーヒーのカスなど （他の生ごみと混ぜて少しずつ処理してください。）	
★破砕に時間のかかるもの えだまめのさや·玉ねぎの皮など （他の生ごみと混ぜて少しずつ処理してください。）	2回 （約2分）

※ **運転後破砕部に生ごみが残っている場合は、再度運転をしてください。**

メモ

●運転35秒後にブザー音が『ピピ』（2回）と鳴ります。時間の目安にしてください。

お手入れのしかた

●投入口・フタ

水で洗ってください。

●バスケット

- 流水で破砕部を清掃してください。
- バスケットの装着レバーを持ち、バスケットを取り外し、まっすぐ引き抜いて清掃してください。
- 破砕部に注意し、スポンジ等で洗ってください。
- 汚れのひどい場合は、台所用洗剤等を使ってつけおき洗いしてください。
- つけおき後は、充分にすすいでください。
（水道水中の鉄分がサビて付着し、サビたように見えることがあります。）

バスケットの装着方法

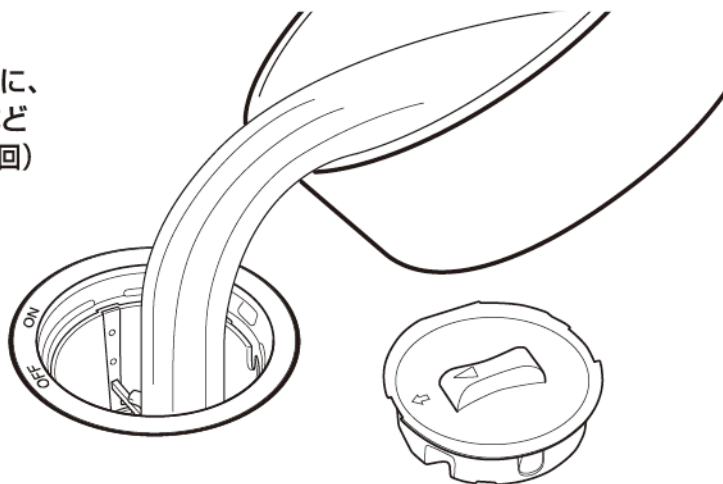
シンクフランジの溝部にバスケットの突起部を合わせてください。

バスケットがきちんと入らない場合（バスケット下部の六角溝が噛み合っていない）バスケット内のバスケット装着レバーを左右に回し、勘合させてください。

●バスケット取り外し後の本体側の流入口

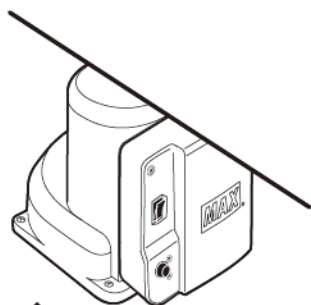
スポンジ等で洗ってください。

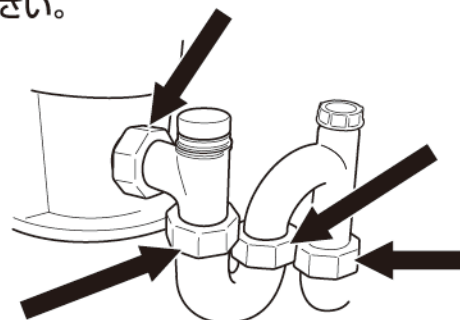
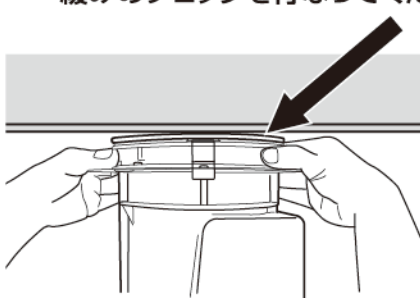
●排水管

排水管にたまりやすい物（卵の殻など）を流す為に、1週間に一回程度フタをはずし、鍋や洗いおけなどに溜めた多めの水を流してください。（6リットル/回）

●本体・制御BOX・排水管

柔らかい布で拭いてください。
（ひどい汚れには、台所用中性洗剤か石鹸水をふくませた布をかたくしぼってお使いください。）
シンナー・ベンジン・アルコール・灯油などは使用しないでください。
（変色・変形の原因になります。）

メモ

●使用環境によっては、結露などの水滴が本体の下に落ちることがあります。

●配管接続部の緩みチェック

シンク接続部、排水トラップ部の水漏れ、および、接合部のナットの緩みのチェックを行なってください。

⚠警告

水ぬれ禁止

本体や制御ボックスをぬらさないでください。
漏電や感電の原因になります。

漏電しゃ断器の点検

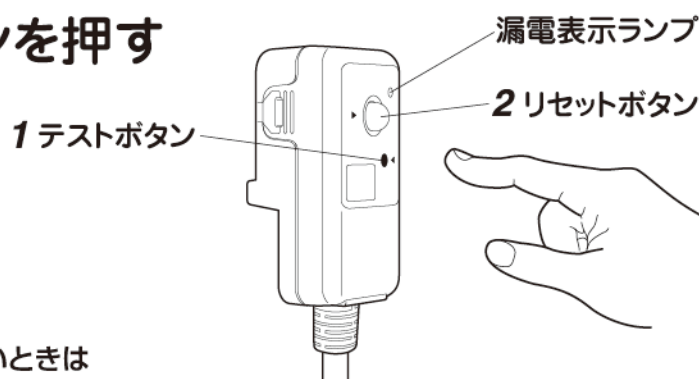
● 漏電しゃ断器の点検は1ヶ月に1回程度行なってください。点検をする際は、電源スイッチを「ON」にして行なってください。

1 漏電しゃ断器のテストボタンを押す

正常な時は、漏電表示ランプ（オレンジ）が点灯します。

2 リセットボタンを押す

ブザーが「ピ」と鳴り、漏電表示ランプが消灯します。

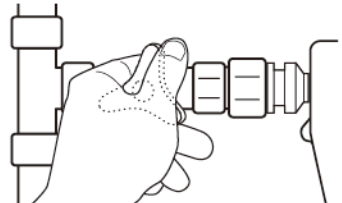
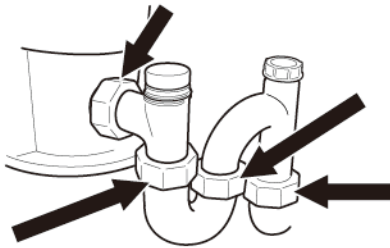
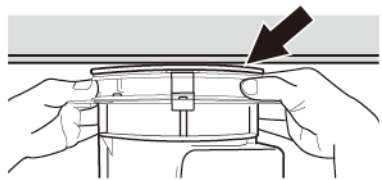
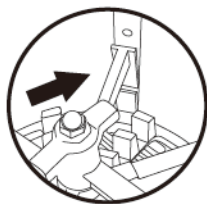
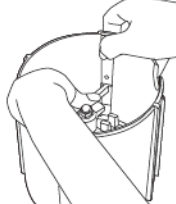
漏電表示ランプ
2 リセットボタン
1 テストボタン

お願い

●テストボタンを押しても漏電表示ランプが点灯しないときは
マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457へご連絡ください。

⚠警告

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源スイッチを操作しないでください。
感電の原因になります。

⚠注意

漏電しゃ断器は、月1回程度テストボタンを押して動作確認を行なってください。
動作不良のときは、感電の原因になることがあります。

故障かな？と思った時には

●次の表に従って調べていただき、なお異常のある場合は、すぐに電源スイッチを『OFF』にして、マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457へご連絡ください

症状	原因	対応方法
フタスイッチを『ON』にしてもブザーも鳴らないし、運転もしない（一旦フタを外し、再度フタスイッチをONにしてください。）	停電しているのでは？	停電の解除を待ってください。
	ブレーカーが「OFF」になっているのでは？	ブレーカーを「ON」にしてください。
	電源スイッチが「OFF」になっているのでは？	電源スイッチを「ON」にしてください（6ページ参照）
	漏電しゃ断器の漏電表示ランプ（オレンジ）が点灯しているのでは？	リセットボタンを押し、漏電表示ランプが消灯したことを確認してください。消えない場合は**マックスお客様ご相談ダイヤル** **0120-228-457**へご連絡ください。
	過負荷保護装置が作動して赤ボタンが飛び出しているのでは？ 正常時　作動時 ※赤ボタンが飛び出します	使用を中止し、電源スイッチを「OFF」にして、電源コードを抜いてください。**マックスお客様ご相談ダイヤル** **0120-228-457**へご連絡ください。
フタスイッチを『ON』にすると『ピ』というスタート音が鳴り、運転しない	本体の故障です。	使用を中止し、電源スイッチを「OFF」にして、電源コードを抜いてください。**マックスお客様ご相談ダイヤル** **0120-228-457**へご連絡ください。
フタスイッチを『ON』にすると『ピピピピピピピピ』と鳴り続け、運転しない	回路上の故障です。	使用を中止し、電源スイッチを「OFF」にして、電源コードを抜いてください。**マックスお客様ご相談ダイヤル** **0120-228-457**へご連絡ください。
運転中に本体から、異常音がしたり、異常な振動がある	大きなものや、かたいものを破砕したのでは？	できるだけ細かくして投入してください。（9ページ参照）
		落下、破砕などの衝撃により、バスケット内の部品が外れることがあります。下図の様にバスケット内の部品を押し込んでください。 この部分が外れることがあります。
	生ごみを詰め込み過ぎているのでは？	落下、破砕などの衝撃により、バスケット内の部品が外れることがあります。下図の様にバスケット内の部品を押し込んでください。
		投入量を減らして、数回に分けて破砕してください
	スプーンなどの金属類やプラスチック類を、誤って入れてしまっているのでは？	電源スイッチを「OFF」（6ページ参照）にし、厚手の手袋などを着用して、バスケットを取り出し、破砕部内の異物を取り除き、破砕刃の中心部分が手で回ることを確認してください。 処置後、バスケットを元に戻し、電源スイッチを「ON」にしてください。
1回の運転中にブザーが『ピピピ、ピピピ、ピピピ、ピピピ・・・・・・』と鳴り続け、運転しない（6ページを参照）	スプーンなどの金属類やプラスチック類を、誤って入れてしまっているのでは？	電源スイッチを「OFF」（6ページ参照）にし、厚手の手袋などを着用して、バスケットを取り出し、破砕部内の異物を取り除き、破砕刃の中心部分が手で回ることを確認してください。 処置後、バスケットを元に戻し、電源スイッチを「ON」にしてください。
	大きなものや、かたいものを多量に投入したのでは？（過負荷運転）（6ページ参照）	モーターのロックを防止するため、破砕刃の回転方向を逆転させています。故障ではありません。できるだけ細かくして投入してください。

症　状	原　因	対応方法
スイッチをONにしても水が出ない。	止水栓が閉じているのでは？	止水栓を全開にしてください。
スイッチをONにしても水が出ない。	電磁弁の目詰まり、電磁弁の故障です。	止水栓を止め、使用を中止し、電源スイッチを「OFF」にして、電源コードを抜いてください。**マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457**へご連絡ください。
スイッチをOFFにしても水が止まらない。	電磁弁の目詰まり、電磁弁の故障です。	止水栓を止め、使用を中止し、電源スイッチを「OFF」にして、電源コードを抜いてください。**マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457**へご連絡ください。
水の流れが悪い	排水管が詰まっているのでは？	止水栓を止め、使用を中止し、電源スイッチを「OFF」にして、電源コードを抜いてください。**マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457**へご連絡ください。
フタスイッチを「ON」にすると、ブザーが「ピー」と1秒以上鳴り続け、運転しない	※過負荷運転を3回繰り返した後に再度運転しようとしたのでは？	短時間に連続で3回を超えての動作を繰り返すと5分間程度動作を受け付けないことがあります。フタスイッチを「OFF」にし、約5分間待つとブザーが「ピーピーピーピー」と4回鳴ります。その音を確認してからフタスイッチを「ON」にしてください。
本体から水が漏れる	シンク接続部や配管接続部の緩みでは？	シンク接続部または配管接続部のナットを閉め直してください。まだ漏れる場合は、使用を中止し電源スイッチを「OFF」にして、電源コードを抜いてください。**マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-457**へご連絡ください。
フタが閉まらない。	ゴミの入れ過ぎでは？	投入量を減らしてください。
フタが閉まらない。	フタが正しい向きに装着されていますか？	8ページを参照してフタの向きを合わせて下さい。
フタが閉まらない。	バスケットがきちんと装着されていないのでは？	バスケットの装着を確認して、バスケット裏側の六角溝と本体との装着を確認してください。
フタが閉まらない。	バスケットがきちんと装着されていないのでは？	落下、破砕などの衝撃により、バスケット内の部品が外れることがあります。下図の様にバスケット内の部品を押し込んでください。この部分が外れることがあります。

※過負荷運転とは、かたいものや、多量に生ごみを投入したときに、正逆運転を繰り返す動作です。

保証とアフターサービス

●よくお読みください

保証について

●本機には保証書（裏表紙）がついています。

●お買い上げの日、販売店名などの記入を必ず確かめ、大切に保管してください。

●本機の保証期間は、お買い上げの日から2年間です。

アフターサービスについて

●修理・お取扱い・お手入れなどについてご不明、お困りの場合は、ご使用を中止して、『マックスお客様ご相談ダイヤル（無料）』にご相談ください。

●保証期間中の修理は、保証書（裏表紙）の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有償修理させていただきます。

故障時の連絡先

●『マックスお客様ご相談ダイヤル』では、ご相談を受付いたします。

マックスお客様ご相談ダイヤル（無料）

フリーダイヤル

365日　24H受付

0120-228-457

「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

●お客様にご連絡していただきたい内容

品　名	ディスポーザ	
品　番	GD-B181A2S	GD-B181A2P
LOT NO.		
ご使用開始日	年　月　日	
トラブルの状況（なるべく具体的に）		

仕　様

設置場所	流し台シンク下
電圧	AC100V
電源周波数	50Hz／60Hz共用
電動機形式	DCモーター
定格出力	56W
定格消費電力	115W（50Hz／60Hz）、待機電力（運転停止時）：約1.6W
破砕部容量	約1.2L（1回あたりの処理容量：約300g）
運転方式	全自動フタスイッチ型バッチ方式
破砕方式	正逆反転ブレード破砕方式
給水圧力	0.1～0.4MPa
安全装備	過負荷保護装置、漏電しゃ断器、バキュームブレーカ（GD-VB1）
外形寸法	幅238mm　×　奥行268mm　×　高さ280mm
質量	8.0kg
電源コード	長さ 1.0m、漏電しゃ断器付プラグ
アース線	長さ 1.0m、緑色
排水管	排出口 φ38mm

保 証 書

品 名	ディスポーザ	品 番	GD-B181A2S	GD-B181A2P

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この保証書はお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無償修理を行うことを約束するものです。

〈無償修理規定〉

1.取扱説明書、取付説明書に従った正常な使用状態で、下記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店、弊社または代行店が無償修理致します。
2.保証期間内に故障し、無償修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3.本書は日本国内においてのみ有効です。
4.本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
5.保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
(ハ) 火災、塩害、地震、風水害、煤煙、腐食性などの有害ガス、ほこり、落雷、異常気象、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入およびその他の天災、地変による故障および損傷。
(ニ) 取付説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
(ホ) 業務用の場所でご使用になられた場合。
(ヘ) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
(ト) 樹脂仕上、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
(チ) 機器に表示してある電源、電圧以外の電源、電圧で使用された場合。
(リ) 本書の提示がない場合。
(ヌ) 本書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
(ル) 消耗部品の取替および保守などの費用。

個人情報の取扱について

お客様からご提供いただいたお客様の氏名・住所・電話番号及びご使用中の当社製品に関する情報は、新製品情報・イベントのご案内や当社製品・サービスの質の向上のために利用させていただきます。

お 客 様	お名前	☎
	ご住所 〒	
保証期間	ご使用開始日　　年　　月　　日　から２年間	
販 売 店	店 名	☎
	住 所 〒	
取付年月日	年　　月　　日	

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

マックスお客様ご相談ダイヤル（無料）

365日 24H受付
0120-228-457
「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6
TEL 03-3669-8112（代） FAX 03-3669-8135

2 版 2008年10月	
1 版 2008年９月	4 版 2010年７月
初版 2008年６月	3 版 2009年９月